

臨床画像診断学

レッドフラッグ鑑別のための画像診断から理学検査の選択と実際



講師：荒木 秀明

日本臨床徒手医学協会 (iMMSJ) 代表理事

2017年3月11・12日

お申込み：3月4日まで

定員になり次第×切します

info_immsj@yahoo.co.jp

セミナー概要

開催日	平成29年3月11日 14:00~18:00 (13:30 受付開始) 平成29年3月12日 9:00~15:00
開催場所	(株)インターリハ (www.irc-web.co.jp/)
講師	荒木秀明 (日本臨床徒手医学協会代表理事)
内容 (講義)	<ul style="list-style-type: none">● 正常単純X線、MRI 画像の診方● 代表的疾患の画像供覧 (椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、変性性すべり症)
内容 (実技)	<ul style="list-style-type: none">● 画像診断からレッドフラッグ鑑別の理学検査の実際 (神経学的脱落所見、疼痛誘発テスト、他動運動テスト)● レッドフラッグ症例に対する保存療法の実際
定員	40名程度
受講料	iMMSJ 認定セラピスト：10,000 円 iMMSJ 会員：20,000 円 会員外：30,000 円
その他	筆記用具持参、動きやすい服装 (ジーパン、スカート不可)
申し込み方法	ホームページ (info_immsj@yahoo.co.jp) から必要事項を記載の上、お申込み下さい

【いまさら聞けない、「画像診断の基礎」から伝えます】

講師：荒木秀明(日本臨床徒手医学協会 代表)

日本臨床徒手医学協会テクニカルコース第2弾は徒手医学から診る画像診断です。X線単純撮影から造影、CT、MRI (MODIC・DTI) までの画像診断の変遷と基礎知識、画像診断の適応と限界。Red flags の鑑別、神経学的脱落所見 (腱反射)、画像診断+ α (疼痛誘発テスト、他動運動テスト) を実際の臨床の流れとともにお伝えします。

- 「画像はあてにならない」と言いつつ画像が読めない
- 患者様に意見を求められたときかっこよく説明したい
- 徒手療法へのリスクを減らし安全に治療をすすめたい
- ドクターと対等に意見交換をしたい

講義内容

- 正常単純X線画像の診方
- 代表的疾患の画像供覧 (椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、変性性すべり症)
- 画像診断からレッドフラッグ鑑別の理学検査の実際 (神経学的脱落所見、疼痛誘発テスト、他動運動テスト)
- レッドフラッグ症例に対する保存療法の実際

他団体では決して聞くことのできない臨床に即した画像診断学です！徒手医学の勉強歴のない方でも理解しやすい内容になっています。